

香川高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	創造実験・実習	
科目基礎情報							
科目番号	4002			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実験・実習			単位の種別と単位数	履修単位: 4		
開設学科	情報工学科 (2018年度以前入学者)			対象学年	1		
開設期	通年			週時間数	4		
教科書/教材	自作テキスト						
担当教員	福永 哲也,高城 秀之,川久保 貴史,三崎 幸典,ジョンストン ロバート,天造 秀樹,徳永 修一,金澤 啓三,川染 勇人,岩本 直也,谷口 億宇						
到達目標							
(情1) ワード、エクセルの簡単な操作を行うことができる。 (情2) 簡単なウィンドウズプログラムを作成することができる。 (通1) テスターを使って、抵抗、電圧、電流を測定することができる。 (通2) 電子回路部品の役割を知り、回路図から電子回路製作できる。 (電1) 簡単なロボットを作製することができる。 (電2) 自分で作成したロボットに関するプレゼン資料を作成し、発表することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
(情1) ワード、エクセルの簡単な操作を行うことができる。	ワード、エクセルでレポートを作成することができる。		ワード、エクセルの簡単な操作を行うことができる。		ワード、エクセルの簡単な操作を行うことができない。		
(情2) 簡単なウィンドウズプログラムを作成することができる。	単純なアニメーションを用いたウィンドウズプログラを作成することができる。		簡単なウィンドウズプログラを作成することができる。		簡単なウィンドウズプログラを作成することができない。		
(通1) テスターを使って、抵抗、電圧、電流を測定することができる。	テスターを使って、回路上の任意の抵抗、電圧、電流を測定することができる。		テスターを使って、抵抗、電圧、電流を測定する方法を知っている。		テスターを使って、抵抗、電圧、電流を測定する方法を知らない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	工学に興味を持ち,高専 5 年間の学習に粘り強く取り組む姿勢を養うための工学導入教育である。そのため 3 学科の特徴を生かした 1 年生が興味を示す実験を中心に行うことを原則とする。この実験によりプログラミング やものづくりの楽しさを体験し,2 年生以降の専門教育や工学実験に対する動機付けを行う。						
授業の進め方・方法	始めに,情報リテラシー教育を行う。 ウィンドウズプログラミングでは,さらなるリテラシー教育としてパワーポイント,表計算ソフト及びグラフィックスソフトに関する知識を習得する。プログラミングではプログラ밍の基礎を習得し,その知識を用いて創造的かつ独創的なプログラムを作成する。 電子回路製作では,実験を通して,各種部品を知ると共に,回路法則を理解しながら,自らの力で簡単な電子回路製作が行えるようにする。 ロボット製作では,マインドストームによるロボット製作,ロボットコンテスト,パワーポイントによるプレゼンテーションコンテストを中心に実験を行う。学生同士や学生と教員のコミュニケーションを密にしてアイデアを出し合い創造力を養う。						
注意点	この科目は指定科目です。この科目の単位修得が進級要件となりますので,必ず修得して下さい。 オフィスアワー: 月曜日放課後 (川染)						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス,コンピュータ環境の説明		学内のコンピュータ環境,ファイル保存の方法を知る。		
		2週	情報リテラシー		パスワードの設定を行う。ネットマナーについて学ぶ。		
		3週	Webメールの使い方		Webメール使い方を知る。D2:1		
		4週	ウインドウズプログラミング: フォームの作成		Visual Studioの使い方を知り、変数や配列を理解する。D2:1		
		5週	ウインドウズプログラミング: 様々な関数		繰り返し処理や関数の基礎について理解する。		
		6週	ウインドウズプログラミング: グラフィックスの基礎		円、四角形等の基本図形を用いたプログラミングを理解する。		
		7週	ウインドウズプログラミング: アニメーション		基礎的なアニメーションプログラミングについて理解する。		
		8週	ウインドウズプログラミング: 創造的課題		今までに得た知識を基に、創造的プログラミングを行える。D2:2,3		
	2ndQ	9週	ワープロソフトの使い方		マイクロソフトのワードの基本的な使い方を理解する。		
		10週	表計算ソフトの使い方		マイクロソフトのエクセルの基本的な使い方を理解する。C2:1,2		
		11週	プレゼンテーションソフトの使い方		マイクロソフトのパワーポイントの基本的な使い方を理解する。C3:2		
		12週	報告書の作成		ワード、エクセルを用いて簡単な報告書を作成することができる。		
		13週	実験説明,ブレッドボード		実験内容,注意事項を知る。A1:1		
		14週	抵抗の直並列接続		抵抗の直並列接続を,ブレッドボード上で行える。D2:1		
		15週	テスター(抵抗,電圧計)		テスターを使って,回路上の抵抗や電圧計を測定できる。D2:2		
		16週					
後期	3rdQ	1週	テスター(電流計)		テスターを使って,回路上の電流を測定できる。D2:2		
		2週	オームの法則		回路上で,オームの法則が成立することを確認する。E4:2		

		3週	キルヒホッフの法則	回路上で,キルヒホッフの法則が成立することを確認する。E4:2
		4週	製作物の説明,実体配線図	実体配線図を描くことができる。E2:1
		5週	電子回路製作	ブレッドボード上で,電子回路製作することができる。E3:3
		6週	片付け,授業評価アンケート	
		7週	ロボットコンテストのルール説明	コンテストのルールや課題の説明を受け、作るべきロボットを考案する。E1:1,2,E5:1,2,E6:1-3
		8週	センサーの使い方	センサーの使い方を習得する。
	4thQ	9週	ロボットの組み立て	アイデアを修正しながらロボットを組み立てていく。E1:1,2,E5:1,2,E6:1-3
		10週	ロボットの組み立て	アイデアを修正しながらロボットを組み立てていく。E1:1,2,E5:1,2,E6:1-3
		11週	ロボットコンテスト	ロボット競技に参加し、作る楽しさを経験する。E1:1,2,E5:1,2,E6:1-3
		12週	ロボットコンテスト	ロボット競技に参加し、作る楽しさを経験する。E1:1,2,E5:1,2,E6:1-3
		13週	プレゼンテーションの作成	組み立てたロボットの特徴を説明するプレゼン資料を作成する。C1:1,2,C3:1-3
		14週	プレゼン	プレゼンを行い、相互評価することでプレゼン能力の向上を行う。C4:1-7
		15週	プレゼン、ロボットの分解や片付け	プレゼンを行い、相互評価することでプレゼン能力の向上を行う。C4:1-7
		16週	成績確認, 授業評価アンケート	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	情報技術の進展が社会に及ぼす影響、個人情報保護法、著作権などの法律について説明できる。	2	前2
			技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	高度情報通信ネットワーク社会の中核にある情報通信技術と倫理との関わりを説明できる。	2	前2
		情報リテラシー	情報リテラシー	情報セキュリティの必要性および守るべき情報を認識している。	2	前2
				個人情報とプライバシー保護の考え方についての基本的な配慮ができる。	2	前2
				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威を認識している	2	前2
				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威に対して実践すべき対策を説明できる。	2	前2
専門的能力	分野別の専門工学	情報系分野	その他の学習内容	少なくとも一つの具体的なコンピュータシステムについて、起動・終了やファイル操作など、基本的操作が行える。	4	前1,前2,前3
				少なくとも一つの具体的なオフィススイート等を使って、文書作成や図表作成ができ、報告書やプレゼンテーション資料を作成できる。	4	前1,前2,前3
				少なくとも一つのメールツールとWebブラウザを使って、メールの送受信とWebブラウジングを行うことができる。	4	前1,前2,前3

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	10	90	0	100
基礎的能力	0	0	0	10	30	0	40
専門的能力	0	0	0	0	60	0	60
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0